厚生

●主たる事業

△地域支え合い体制づくり事業

△松前町障害者相談支援センターの設置

△地域環境会議の設置

△松前町健康づくり計画

●審査内容の主なもの

問　地域支え合い体制づくり事業の、昨年の実績と今年度補助申請された経緯と補助率は。

答　昨年度実績が13地区で、今年度は残る地区のうち2地区より補助申請があり、補助率は対象経費の100％である。

問　郵便事業株式会社に委託する独居高齢者の生活状況確認業務の内容は。

答　住民基本台帳で高齢者の一人世帯となっている約2，400人の方を訪問し、実態を確認し、実質独居の方には再度、生活状況アンケートを実施する。

事業継続は、何年かに1度の割合で実施するかどうか検討する。

高齢者のひざ・腰にやさしい取り組み

問　償還金について、継続して償還が発生するのか。

答　平成23年度事業の決算で発生した償還である。

問　ジェネリック医薬品差額通知の方法は。

答　本年度は9月に調剤薬局で処方された医薬品をジェネリック医薬品に切替えた場合に、自己負担額が一定以上削減できる方へ通知をする。

対象者は500人程度。実施は、削減通知書の作成及び送付を、国保連合会を通して外部委託する。

産業建設

●主たる事業

△集落営農育成強化対策事業

△戸別所得補償経営安定推進事業

△土地改良事業

△老朽建物除却事業

●審査内容の主なもの

◎条例一部改正

下水道法施行令の一部改正に伴う事務執行の為の改正。

水質基準にかかる規定について意見があったが、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決。

問　人・農地プランに関連し、青年就農給付金の給付対象者となった1名の人選方法と周知については。

答　伊予農業指導班及び松山市農業協同組合から数名の候補者の提示を受け、指導班及び農協並びに農業委員会において1名を選出した。

周知方法として農業委員会、大字役員にプラン及び関連施策について説明し、地域に対象者がいるときは申し出ていただくよう依頼している。また、6月の広報にも掲載した。

問　町道西古泉・筒井線について

答　西古泉・筒井線の関係者協議用図書作成の為、経費を計上している。

農業の活性化にこれからも力を入れて

問　老朽化建物除去事業の個人の場合の補助は。

答　対象地区として、DID地区で9万円を上限に、1平方メートル当たり3千円で補助を行っている。